

研究にご協力いただいた看護師の皆さまへ

皆さまには、2019年度に「重症心不全患者の治療選択における Shared decision making への看護師参画の実態調査」（研究責任者：稲垣範子）にご協力いただき、誠にありがとうございました。今回は、その際のインタビューデータを用いて、以下に示す第2段階の研究として分析を追加します。本研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とした生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を通知又は公開することが必要とされており、この臨床研究は倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や看護師の人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》

生命を脅かす疾患に直面した患者のSDMを支える多職種協働意思決定支援モデルの構築

第1段階：重症心不全患者の治療選択における Shared decision making への看護師参画の実態調査

第2段階：重症心不全患者の特性に応じたクリティカルケア看護師の意思決定支援

—シェアード・ディシジョンメイキングを志向する看護師の役割—

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学大学院看護学研究科 治療看護分野

クリティカルケア看護学領域 博士後期課程3年 稲垣 範子

《研究の目的》

クリティカルケア領域で治療選択が必要な重症心不全患者への看護師による意思決定支援について、急性・重症患者看護専門看護師10名を対象とした第1段階の調査内容への分析を追加し、以下の点を明らかにすることを目的としています。

- 1) クリティカルケア領域で治療選択が必要となる重症心不全患者の特性
- 2) クリティカルケア看護師が担う意思決定支援における役割

《研究期間》 研究許可日～2022年3月22日

《研究の方法》

●対象となる看護師の皆さま

2019年6月6日から2020年3月31日の間に、「重症心不全患者の治療選択における Shared decision making への看護師参画の実態調査」にてインタビュー調査にご協力いただいた方

●研究に用いる情報の種類

情報：2019年6月6日から2020年3月31日の間に実施したインタビューの逐語録から研究目的に沿って抽出した内容

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の看護師の皆さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での情報等の取扱い・他機関への提供について》

インタビューでお聞きした情報には匿名化処理を行い、看護師の皆さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

この研究の分析結果の信用可能性を高めるために、クリティカルケア看護学を専門とする大学教員2名に、分析データを提供し意見を求めますが、個人の特定が不可能な処理を講じたうえで取り扱います。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は、公的な資金(研究代表者を稲垣範子とする JSPS 科研費基盤研究C(課題番号 18K10331)「生命を脅かす疾患に直面した患者の SDM を支える多職種協働意思決定支援モデルの構築」の研究費を用いて行われます。特定の企業からの資金は一切用いません。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、看護師の皆さまの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学大学院看護学研究科 治療看護分野 クリティカルケア看護学領域

博士後期課程3年 稲垣 範子

〒573-1004 大阪府枚方市新町2丁目2番2号 電話 072(804)0101 (代表)

E-mail noriko.inagaki@nrs.setsunan.ac.jp